

第 137 回八大学工学関連研究科長等会議 議事録

日 時 2019 年 4 月 19 日 (金) 14:00～17:00

場 所 KKR 東京 11F 孔雀の間

出席者 八大学工学系連合会会員等 89 名 (研究科長等、副研究科長等、運営委員、依頼出席者、
陪席者) : 詳細は出席者名簿参照

議題等

1. 報告事項

- (1) 前回議事録確認
- (2) 運営委員会活動報告
- (3) 工学系教育改革の取り組みについて
- (4) 工学教育研究に関する国際交流について

2. 協議事項

- (5) 博士フォーラムの実施報告と今年度の進め方について
- (6) 就職活動問題への取り組みと今後の進め方について
- (7) 八大学からの提言の進め方について

3. 講演会

講演 I 新化学技術推進協会 (JACI) 事業統括部長 片岡正樹氏

講演 II 文部科学省高等教育局専門教育課長 加賀谷次朗氏

講演 III 東京工業大学名誉教授 岸本喜久雄氏

4. その他

- (8) 今後の予定について

配布資料一覧

- 資料1 第 136 回八大学工学関連研究科長等会議議事録(案)
- 資料2 平成 30 年度第 2 回運営委員会議事録(案)
- 資料3 産学連携強化による工学教育エコシステムの構築 (北大)
- 資料4 Asian Engineering Deans' Summit (AEDS2019)
- 資料5 UKJEEL 2019 (7th UK-Japan Engineering Education-League Workshop)
- 資料6 日豪フォーラムの計画書 (案)
- 資料7 平成 30 年度博士フォーラム実施報告 (東大)
- 資料8 公開シンポジウムの開催とその後の動きについて
- 資料9 八大学からのこれまでの提言一覧
- 資料10 八大学工学系連合会の会長校・幹事校について (参考)
- 講演 I 新化学技術推進協会の活動と大学との連携について
- 講演 II 工学教育を取り巻く最近の状況について
- 講演 III 産学連携による科学技術人材の育成について

議 事 要 旨

開会の辞

開会に当たって水谷会長・名大工学研究科長より、挨拶があった。

幹事校代表者挨拶

今回の幹事校である東京工業大学物質理工学院長の和田先生から挨拶があった。

議長選出

定款施行細則第4条第4項に従って幹事校代表者の和田東工大物質理工学院長を議長に選出した。

会議日程及び資料確認

石原事務局長から、会議日程の説明及び配布資料の確認があった。

出席者自己紹介

議事に先立って、出席者全員からの自己紹介を行った。

議 事

1. 報告事項

(1) 前回議事録(案)確認(資料1)

資料1により、昨年9月28日に大阪にて開催した第136回八大学工学関連研究科長等会議議事録(案)を確認の上、承認した。

(2) 運営委員会活動報告(資料2)

事務局から資料2に基づき、昨年11月30日に開催した平成30年度第2回運営委員会の議事録が紹介され、本日のこれからの議論の参考に供された。

(3) 工学系教育改革の取り組みについて(資料3)

北大・瀬戸口工学研究院長より、一連の工学系教育改革の流れとして北大で平成30年度事業として実施した「産学連携強化による工学教育エコシステム構築事業」の実施報告として、学修一環・修博一環、メジャー・マイナー、博士進学希望時期、数理サイエンス・データ科学、企業との連携教育など、種々の工学系教育改革に関わる取り組みが報告された。

(4) 工学教育・研究に関する国際交流について(資料4、資料5、資料6)

和田議長から今年度は3件の工学教育研究に関する国際交流が計画されていて連合会はそれらに「協賛」あるいは「共催」することが紹介され、それぞれについて担当の大学より説明と参加案内があった。

- ・ 東工大・和田物質理工学院長より、資料4に基づいて、来る5月29日～31日に台湾・国立台湾大学で開催するThe 9th Asian Engineering Dean's Summit (AEDS2019)のアナウンスと参加登録案内があった。
- ・ 東工大・岩附工学院長より、資料5に基づいて、9月5日～7日にロンドン(Queen Mary University of London)で開催予定の第7回日英工学教育ワークショップのアナウンスがあり、各大学にはワークショップへの教員、博士課程学生派遣の検討依頼があった。また、九大・久枝工学研究院長より補足説明があった。

- ・ 北大・瀬戸口工学研究院長より資料 6 に基づいて、10 月 16 日～18 日に開催を計画している「日豪フォーラム」の提案があった。日本工学アカデミーが実施してきた日豪若手研究者交流事業の参加者をメンバーとする第 3 回シンポジウムに八大学工学系連合会が連携・共催する形を計画し、八大学として具体的な連携・協力を検討していくことが説明された。

2. 協議事項

(5) 博士フォーラムの実施報告と今後の進め方について（資料 7）

幹事校を務めた東大・古澤副研究科長から資料 7 に基づき、昨年 10 月 12 日に東京大学本郷キャンパスで開催した「博士フォーラム」の実施報告があった。今回の博士フォーラムでは、「博士課程に進学した理由」や「博士課程に進学しない理由」などの話題提供があり、博士課程学生の経済的支援などの深刻な問題点が議論されたことが報告された。また、今年度は名大が幹事校であり、名大・生田副研究科長から今年の博士フォーラムは 11 月 15 日（金）に名大キャンパスにて実施を企画するとの意見をお寄せいただきたい旨のアナウンスがあった。

(6) 就職活動問題への取り組みと今後の進め方について（資料 8）

事務局より資料 8 に沿って、昨年 12 月 18 日に開催した公開シンポジウムの開催報告とその後の新聞報道、経団連の「採用と大学教育の未来に関する産学協議会開催」などの各界の動きの説明があった。また、水谷会長より、午前の会議では本件を重要な活動と位置付け、今年も公開シンポジウムを 11 月 27 日（水）に東京神田・一橋講堂で開催することを承認し、具体的活動は「就職活動への対応分科会」事業として推進することが報告された。また、和田議長より、この就職活動への対応について、事業の進め方・留意事項、シンポジウムの内容、外部との連携などの意見を運営委員会・連合会事務局にお寄せいただきたい旨のコメントがあった。

(7) 八大学からの提言の進め方について（資料 9）

和田議長より、資料 9 のこれまでの八大学からの提言一覧をご覧いただき、今年度の提言テーマについてご意見や提案を事務局にお寄せいただきたいとのコメントがあった。

3. 講演会

本年度は以下の 3 件の講演と質疑が行われた。

- I. 新化学技術推進協会の片岡正樹統括事業部長より、「新化学技術推進協会の活動と大学との連携について」と題して講演があり、化学分野における産学連携や博士採用に関する動向（アンケート調査結果）が紹介され、質疑が行われた。
- II. 文部科学省高等教育局専門教育課の加賀谷次朗課長補佐より「工学系教育を取り巻く最近の情勢について」と題して講演があり、2040 年を見据えた大学院教育や工学系教育改革に関する最近の状況の説明があり、質疑が行われた。
- III. 岸本喜久雄東工大名誉教授より、「産学連携による科学技術人材の育成について」と題して講演があり、文科省・経産省が連携した「大学協議会」活動の紹介とこれへの八大学工学系連合会の協力要請があった。

4. その他

(8) 今後の予定について (資料 10)

今後の会議予定について資料 10 を参考に和田議長から、今年秋の幹事校が京都大学、来年春の幹事校が東京大学であることが紹介された。

- ・ 次回秋の常設会議の幹事校である京大・大嶋工学研究科長から、2019 年(令和元年)秋の常設会議は 9 月 27 日 (金)、京都ホテルオークラで開催する旨アナウンスがあった。
- ・ 次々回の幹事校である東大・大久保工学系研究科長から、2020 年(令和 2 年)春の常設会議は 4 月 17 日(金)に KKR 東京で開催するとのアナウンスがあった。

次に、和田議長より 2019 年度は会長校が名古屋大学から東北大学に交代することが紹介され、名大・水谷工学研究科長から会長退任の挨拶、東北大・長坂工学研究科長から会長就任の挨拶があった

以上をもって第 137 回八大学工学部長会議を終了することを和田議長が宣言し、事務局長から、この後、情報交換会を開催するので「丹頂の間」に移動頂きたい旨の案内があった。

以上